

山形教区報

発行 天理教山形教務支庁 〒 994-0027 天童市桜町 11 番 1 号
 TEL 023-656-8420 FAX 023-656-8425
 編集 広報部 E-mail y_kohobu@yahoo.co.jp

立教 186 年

1 月号

第 154 号



年頭 あいさつ

教区長 森井 昭 司

明けましておめでとございます。穏やかな元旦を迎えさせて頂く中に、今年は何かが変わっていくのではないかと、感じさせてくれるような年明けとなりました。

振り返りますれば昨年は、教内においては年頭に真柱様より、立教百八十九年に教祖百四十年祭をとめることをご発表頂き、秋季大祭では、百四十年祭に向かって、心を一つに合わせつとめる指針として『諭達第四号』が發布され、いよいよ三年千日の年祭活動を踏み出させて頂きました。

一方、世界に目を転じれば、2月にロシア軍によるウクライナ侵攻が開始され、また一年を通して、世界各地で大規模な自然災害が頻発しました。そして、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延は、未だ治まる気配が感じられませんが、流行が始まってから3年が経過した現在では、十分な対策を講じた上で、それ以前の活動を取り戻そうとする努力が重ねられています。

さて、先程も触れましたように、本年は教祖百四十年祭へ向かう三年千日の一年目であります。真柱様は、

『「人救けたら我が身救かる」と、ひたすらたすけ一条に歩む中に、いつしか心は澄み、明るく陽気に救われていくとお教え下された。ちばを慕い親神様の思召に添いきる中に、必ず成程という日をお見せ頂ける。』

教祖よりお教え頂いた御教えを紐解き、親神様の世界を感じ取り、陽気ぐらし世界建設に向かって、何からでもよいから素直に教えを実行し、教会が地域社会の中にあつて、互いにたすけ合う生き方の大切さを発信する場となることが出来れば、こんな素晴らしいことはありません。これまでに見つめ直し、あるいは思案を重ねてきた、それぞれの教会が抱えている問題点を御守護頂くと共に、大きくは全世界の平和のために、身近なところでは、一人ひとりが安心して暮らせる世の中となるよう、真柱様の御心を我が心として、一歩ずつ着実に歩みを進めさせて頂きましょう。

教区管内の皆様には昨年にも増して、それぞれのお立場で一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

第 30 回 女子青年大会

婦人会本部主催の「第 30 回女子青年大会」が、11 月 27 日、本部中庭を会場に開催された。

山形教区では 11 月 26 日から 28 日の日程でバス団参が実施され、女子青年 8 名 (現地で合流した者を含む) を始め、同担当者ら総勢 16 名が大会に参加すると共に、2 名の女子青年が別席を運んだ。

式典では、婦人会長様のご挨拶、真柱様のメッセージに続いて、3 名の女子青年による今大会に向かう「あゆみ」が発表され、山形教区女子青年委員長・佐藤美希さん (小南部大・中陽布教所所属) がその中の一人として、全国の女子青年を代表し、感話を発表した。(次頁に掲載)

参加者感想文

○3つのかどめを心に置いて、女子青年としていられる今この時期を大切にし、また、常に心遣いに気を付けて、いい匂いが出る人になりたいと改めて感じました。3人の女子青年の方のお話を聞いて、普段当たり前と思っていることの中に、ありがたいことがたくさんあることが分かり、これからも素直な心で通らせて頂きたいと思いました。(20代女性)

○今の私は育つ立場であると共に、育てる立場でもあるので、教祖のひながたを今一度学び直し、三年千日をスタートさせて頂きたいと思いました。コロナ禍の中にも関わらず、あんなに大勢の女子青年の皆さんで埋め尽くされた会場を見て、胸がいっぱいになりました。

(20代女性)



私は昨年、難病指定の病気である「重症筋無力症」と診断されました。身体に異変を感じたのは、去年の3月頃からでした。仕事をしてもすぐ疲れやすく、腕にも力が入らなくなってきました。力仕事が多いせいで疲れが溜まったのだと思い、整形外科を受診しました。病名も分からないまま、病院に通いながら仕事を続けていましたが、快くなるどころかますます手足に力が入らなくなり、ろれつが回らずうまく話せなくなり、ものを噛む力もなく、食べ物飲み込むことさえ出来なくなり、いったい私の身体はこれからどうなってしまうのだろうと、不安な気持ちでいっぱいになりました。

私の家には神様をお祀りしています。「どうか、また元気な身体をお貸し下さい」と毎日おつとめでお願ひさせて頂き、私の不安でいっぱいな気持ちを、神様に申し上げていました。身体に異変を感じてから3カ月、あちこちの病院を受診しても、原因が分からない日々が続きました。

ある日インターネットで検索していたら、自分の身体と同じ症状の病名を見付け、私は母に付き添ってもらい、直ぐに脳神経内科を受診しました。お医者さんから「あなたの病気は重症筋無力症です」と言われ、大変な難病であることを告げられました。一緒に説明を聞いていた母は、とてもショックで泣いていました。私も現実を受け入れなければならぬショックがありました。でもそれ以上に、「絶対大丈夫。神様がたすけて下さる」という何とも不思議な安心感に包まれた感覚を、今でもはっきりと覚えています。そして「これからおたすけさせて頂きなさい」という言葉が心に浮かび、神様からメッセージを頂いたように思いました。直ぐに、手術・投薬治療のため、1カ月入院しました。その間、温かい主治医の先生や看護師さんに恵まれ、コロナ禍で家族と面会出来ない中でしたが、心穏やかに入院生活を過ごすことが出来

たのは、家族はもちろんですが、教会や教区の先生始め、たくさんのお道の方々がお願いづとめをして下さったお陰です。自分でもびつくりするくらい御守護頂き、本当に感謝の気持ちいっぱい、今日ここに立つことが出来ました。

私はとにかく、神様にたすけて頂いたご恩返しがしたくて、仕事を辞めて10月から修養科に入りました。修養科ではいろんな方との出会いがあり、身上で苦しんでいる方や事情で悩んでいる方、いらっしゃる方がたくさんおられます。中でも身上で辛い思いをしている方の気持ちは、自分が経験したからこそ、その方に寄り添うことが出来て、こんな私でも少しでもお役に立てるんだと思うと、嬉しくなります。

「節から芽が出る」と、教祖にお教え頂きます。私はこの病名が分かるまでの3カ月間は、本当に身体も心も辛く、苦しい日々が続きました。私の身上は決して完治したわけではありませんが、今まで当たり前と思つて過ごしてきたことが、当たり前に出来る喜びを実感しています。そして、親は私にこのお道の信仰を伝えてくれたお陰で、今の私があります。これからの長い人生、辛いことや泣きたいこともたくさんあるかも知れません。どんなことがあっても、それはきつと幸せへと続く道なので、そこをどのように通るかでその先は決まってしまうのだと思います。いつも親神様は私達を見て下さっていると思います。どんな中でも喜び、親神様、教祖に心を繋ぎ、前を向いて歩んでいきたいと思ひます。



立教186・187年 (令和5年、6年) 山形教区活動計画表

立教185年12月2日

Calendar for 2023 (立教186年) with dates and activities like '年頭挨拶', '春季大祭', '天理教婦人会'.

Calendar for 2024 (立教187年) with dates and activities like '婦)ファミリーサポート', '全国社友大会', '布)のきしんスクール'.

☆立教187年 (令和6年)

Calendar for 2025 (立教187年) with dates and activities like '年頭挨拶', '天理教社友研修会', '東北ブロック社友研修会'.

◎ 各部各会例会その他

Summary table of meetings and events for 2023, categorized by department like '本部会議・例会等', '広報部', '青年会'.

教報

【訃報】

長倉 やす子氏 黄金分教会三代會長(名古屋大)が11月28日出直された。享年100歳。中央支部

横山 幸子氏 天童分教会六代会長夫人(名古屋大)が12月27日出直された。享年92歳。中央支部

教務支庁日誌

12月 20日 植木雪吊りひのきしん女子青年例会
11月 2日 主事会 教区例会
12月 1日 たすけ推進委員会 主事会
12月 2日 教務支庁大掃除
12月 6日 教区例会 地方委員会 中央支部例会